

科目名		授業形態	担当教員名	
中枢神経系理学療法学Ⅲ		講義	坂東 恵美子・姫野 広美	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（1 単位）		15 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
神経筋疾患における病態と症状を理解し、理学療法の評価や治療に必要な知識と技術を知り、修得できるようになることを目的とする。また、特異的な障害像を理解し、個々の症状に応じた評価や理学療法について学ぶ。				
授業の到達目標				
中枢神経系の構造と機能解剖や神経生理の基礎知識を使用し、運動制御について説明できるようになる。各疾患の病態を理解し、必要な機能障害および能力障害の評価を列挙することができる。基本的な治療について知り、その目的を理解する。				
授業計画				
回	内容			
1	運動失調：病態と症状			(坂東)
2	運動失調：評価			(坂東)
3	運動失調：理学療法			(坂東)
4	パーキンソン病：病態と症状			(坂東)
5	パーキンソン病：評価			(坂東)
6	パーキンソン病：理学療法			(坂東)
7	筋萎縮性側索硬化症：病態と症状、評価、理学療法			(坂東)
8	多発性硬化症：病態と症状、評価、理学療法			(坂東)
9	重症筋無力症：基本的な症候と、治療上の注意点について理解し、その知識を治療に生かすことができる。			(姫野)
10	多発筋炎、皮膚筋炎：基本的な症候と、治療上の注意点について理解し、その知識を治療に生かすことができる。			(姫野)
11	ギランバレー症候群など：基本的な症候と、治療上の注意点について理解し、その知識を治療に生かすことができる。			(姫野)
12	神経変性疾患：代表的な神経変性疾患についての基本的な症候と治療上の注意点について理解し、その知識を治療に生かすことができる。			(姫野)
13	筋ジストロフィー：基本的な症候と、治療上の注意点について理解し、その知識を治療に生かすことができる。			(姫野)
14	外傷性脳損傷：病態、症状、評価、理学療法			(坂東)
15	脳腫瘍：病態、症状、評価、理学療法			(坂東)
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	100%	坂東6割、姫野4割の範囲で作成する。		
レポート・課題				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
15レクチャーシリーズ 理学療法テキスト 神経障害理学療法学Ⅱ第2版	石川朗 他編		中山書店	
ベッドサイドの神経の診かた 改訂 第18版	田崎義昭 他著		南山堂	
病気がみえる vol.7 脳・神経 第2版	医療情報科学研究所 編		メディックメディア	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野神経内科学 第5版	川平和美		医学書院	
標準理学療法学 専門分野 神経理学療法学 第3版	吉尾雅春 森岡周 編		医学書院	
自由記載				
備考				